



浦富海岸に生息する多様なウミウシ

磯の観察会やシュノーケリングをしていて、カラフルなウミウシを見たことがあるでしょうか？ 磯の観察会などではとても人気です。ウミウシとはどのような生き物なのでしょうか？ 今回はウミウシについて少し詳しく解説したいと思います。

ウミウシ（海牛）は、角のような触角があることからその名がついたと考えられていますが、殻が退化した巻貝の仲間です。日本にはウミウシ類が 1400 種以上、浦富海岸には 150 種以上いると言われています。分類学的には、「軟体動物門」の「腹足綱」の 1 グループです。「軟体動物」とは、二枚貝・巻貝やイカやタコなどが含まれ、「腹足綱」はサザエやアワビ、カタツムリなどの巻貝類が含まれるグループです。ウミウシはその中の「後鰓類」と呼ばれる動物の総称で、その名の通り、体の後ろ側に鰓があるのが特徴です。しかし、種類によっては鰓が体に覆われて見えないこともあります。（裏に続く）



カノコキセワタ *Philinopsis gigliolii*



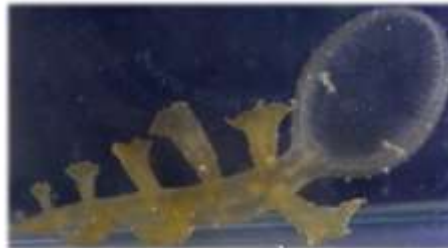
キイロウミコチョウ *Siphopteron flavum*



アメフラシ
Aplysia kurodai



クロモウミウシ *Aplysiopsis nigra*



ムカデメリベ *Melibe viridis*



アマクサアメフラシ *Aplysia juliana*



クロシタナシウミウシ
Dendrodoris fumata



ホウズキフシエラガイ
Berthellina citrina



リュウモンイロウミウシ
Hypselodoris maritima



キヌハダウミウシ
Gymnodoris inornata



アオウミウシ
Hypselodoris festiva



シロウミウシ
Chromodoris orientalis



キイロイボウミウシ
Phyllidia ocellata



サガミミノウミウシ
Phyllodesmium serratum

また、2本の触角を欠くグループもあり、厳密にウミウシと他の巻貝類との線引きが難しいものもあります。そのため、生物学者の間では、学術的にウミウシ類を定義づけているというよりも、便宜的な呼称（あだ名のようなもの）として呼んでいるのです。

ウミウシ写真をコレクションしよう！

アオウミウシやシロウミウシなどは1年中見られるウミウシで、シュノーケリングで見られる代表的な種類ですが、多くのウミウシは春先から出現し、夏までに姿を消してしまいます。ウミウシは種類によって食べ物が異なり、食べる餌の種類（食性の幅）も異なります。たとえば、クロモウミウシは浅い所に生えたアオサ類などの緑藻を食べるのですが、緑藻がなくなる夏には姿を消します。サガミミノウミウシを始めとするミノウミウシ類も春が出現のピークです。多くの種類のウミウシを探すなら、様々な時期に海に入り、ウミウシの食性や出現時期を把握する必要があり、その過程で多くの海の生物を知ることができます。

また、ウミウシ類は学術的に未解明な種類が非常に多く、研究者が少ないため、名前の付いていないウミウシや生態不明のウミウシも多く存在します。

是非、カメラを持って海へ行って、沢山のウミウシを撮影してコレクションしてみてください。もっと海が楽しくなりますよ！ また、それらの写真や記録がウミウシ研究につながるかもしれません。

=ウミウシ講演会の開催のお知らせ=

ウミウシ研究者の中野理枝先生、山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館、ダイビングショップ「ブルーライン田後」が共同で山陰海岸ジオパークエリア内のウミウシ相調査を行います。その後、一般参加者向けに中野先生によるウミウシの講演会を下記のとおり行います。 (太田)

「海の花」ウミウシたちの、したたかな生き方

日時 6月24日(日) 10:00~12:00

場所 岩美町立渚交流館 町民ギャラリー
(鳥取県岩美町牧谷 690-20)

その他 参加申し込みは不要です。直接会場にお越しください。ウミウシについての最新の知見と理解を深めて、山陰海岸ジオパークの海をもっと楽しみましょう！

【講演要旨】

巻貝・カタツムリの親戚とは思えないほど、色や模様が美しいウミウシ。さながら海の中の花のよう。ハナゾウウミウシ、カーネーションウミウシ、カトリアウミウシなんて名前のウミウシもいるくらいです。でも、いったいどうやってそんなにきれいなのか？ あでやかな装いは、やっぱりイケメン狙いだから？

今回のトークイベントでは、ウミウシたちが派手に着飾る理由についてがテーマです。華やかなウミウシたちの選んだしたたかな生き方には、きっと学ぶところがあるはず！



【講師紹介】 中野理枝（なかの・りえ）
2013年琉球大学博士後期課程修了。博士（理学）。専門はウミウシの行動生態学と分類学。講演やウミウシカフェの開催、ウミウシ観察のため1年の半分は国内外を旅するウミウシ研究者。